

◆団体基本情報

No.	7	種別	公益社団法人	団体名	公益社団法人仙台市シルバー人材センター		
所在地	〒 980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2 仙台市シルバーセンター6F						
電話番号	022-214-6262		FAX番号	022-214-6264		所管 部局	健康福祉局 高齢企画課
団体ホームページ	https://webc.sjc.ne.jp/sendaisc/						
代表者職氏名	理事長 白川 由利枝			設立年月日	昭和56年1月10日		
資本金・基本財産	0 千円		市の出捐額(割合)	0 千円 (0.0 %)			
設立 目的	定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、提供することなどにより、その能力を活かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。						
事業 概要	会員登録している高齢者に対する臨時的かつ短期的な及び軽易な業務の就業機会の確保及び提供						
評価対象決算期	令和3年4月1日～令和4年3月31日						

◆人員等の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	1 人
②常勤役員平均年齢	63.5 歳	63.0 歳	62.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	4,539 千円	3,720 千円	4,500 千円
④職員数	16 人	16 人	16 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	1 人
⑤職員平均年齢	52.7 歳	53.9 歳	51.4 歳
⑥職員平均年間給与	4,742 千円	4,670 千円	4,344 千円

◆主要財務データ

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①当期経常増減額	5,860 千円	10,037 千円	5,658 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	4 千円
③当期一般正味財産増減額	5,860 千円	10,037 千円	5,662 千円
④一般正味財産期末残高	118,177 千円	128,214 千円	133,876 千円
⑤指定正味財産期末残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥正味財産期末残高	118,177 千円	128,214 千円	133,876 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①市からの補助金	61,112 千円	63,744 千円	53,909 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	57,426 千円	68,437 千円	61,048 千円
③市に対する収入依存度	9.71 %	11.72 %	10.52 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和3年度事業費
高齢者に対する就業相談及び職業紹介事業	臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために、就業の機会を確保し、提供している。 (会員数：R4.3.31現在 2,705人)	1,068,050 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	超高齢・人口減少社会において、シルバー人材センターの果たす役割は大きく、国が進める「人生100年時代」においても、多種多様な就労による社会参加の実現に向け、益々重要となっている。また、これまで国からの委託を受け、仙台市が行ってきた「生涯現役促進地域連携事業」が令和3年度で終了したことから、シルバー人材センター事業のノウハウを生かし、その業務の一部を当センターが継続することになっており、高齢者の雇用・就業促進に向け、センターの役割が更に必要になると考えている。	生産年齢人口が減少する少子高齢社会において、地域や社会におけるさまざまな活動の担い手として高齢者の役割への期待が高まっている。本市の高齢者保健福祉計画では「高齢者が生涯活躍することのできる環境の整備」でセンターの事業が掲載されており、今後も高齢者の多様なニーズに応じた就業機会の提供を進め、公益性の高い事業を行う等、社会が期待するセンターの役割は年々増加している。
2. 業務・組織管理	新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、市のコロナ関連事業の補助業務に積極的に参入し、新たな就業機会の確保に取り組んだ。また、家事援助サービスや空家管理、介護・子育て支援の周辺業務などの新たな分野へのチャレンジも進め、さまざまな工夫を行いながら事業を推進し、会員に就業機会を提供することができた。	新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、「会員の確保」と「就業機会の拡大」に努め、従来の請負・委託に加え、シルバー派遣事業等多様な就業形態を提供してきた。また、社会から求められている新たな分野への業務のチャレンジ等、事業運営強化が図られている。引き続き、適切な業務運営に取り組まれない。
3. 財務状況	新型コロナウイルス感染拡大や国の指導による適正就業への取り組みにより、事業収益が2年連続で減少してしまった。しかし、40周年記念式典等を中止としたことや、会議、出張など様々なものが中止となり、費用の削減となった結果、財務状況の悪化は避けられている。令和5年10月に導入予定の消費税インボイスの問題は、財政的にシルバー人材センターの根幹を揺るがしかねない大きなものである。現在、仙台市や仙台市議会とも共有し、特別措置等を求めているが、それが叶わなかった場合に備え、事務手数料率を上げ、自己財源を増やすことにも取り組んでいる。	新型コロナウイルス感染症の影響や適性就業への厳格な取り組みを実施し、事業収益が減少しているが、費用削減から財務面の悪化は避けられている。令和5年度に導入が予定されているインボイス制度はセンターの事業にとって影響は大きいことから、制度に対応するための対策を検討しつつ、引き続き、会員の確保や就業先開拓など財務状況の安定に取り組まれない。
4. 今後の方向性及び課題	新型コロナウイルスの影響や、国の指導による適正就業の徹底、令和3年4月に改正された「高齢者雇用安定法」における70歳までの就業機会の確保の努力義務など、シルバー事業をめぐる環境は厳しさを増すばかりである。しかし、厳しい環境下においても従来の就業に加えて人手不足分野での新たな就業開拓など就業体制の強化などを積極的に推進することで事業全体の拡大に繋げていきたい。	急速に少子高齢化が進む中、高齢者の社会での役割に期待が持たれており、その重要性は今後も増している。高齢者に就業機会を提供する当団体の事業は、高齢者の貴重な知識・経験や技能を地域社会へ還元するとともに、会員の社会参加や生きがいづくりにもつながっている。高齢者を取り巻く環境は今後も変化していく中で、当センターは社会状況の変化を踏まえながら、就業機会の確保や会員の確保など、経営基盤の安定化に向けた取り組みをさらに推進されたい。